

Game Prep Report | 試合前レポート

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	オリックス・バファローズ vs ファイターズ
試合日	2026年7月18日(ビジター)
球場	京セラドーム大阪
予想先発	細野(F) vs 未定(B)
データ更新日	2026年7月18日

Executive Summary | 要点まとめ

ソフトバンク3連戦の負け越しを引きずらず切り替えたい、相性の良いオリックス戦(今季10勝5敗0分)。ただし内訳には明確な偏りがあり、ホームでは8勝1敗0分と圧倒する一方、京セラドームでは2勝4敗0分と負け越している。7/16の敗戦は「先制後の追加点不足」が原因であり、先制した後に中盤でどれだけ突き放せるかが今日の焦点になる。

Key Metrics | 重要指標

指標	数値	評価	補足
対オリックス	10勝5敗0分	Good	今季最多の貯金カード
京セラドームでの成績	2勝4敗0分	Risk	ビジターでは負け越し
エスコンでの対B成績	8勝1敗0分	Good	ホームでは圧倒
直近5試合勝敗	2勝3敗0分	Watch	7/11～7/16
先制時勝率	.667	Good	先制時 32勝16敗0分
直近2試合の得点	4点	Watch	7/15: 7点 → 7/16: 2点
紅林 本塁打	11本	Risk	オリックス打線の最大の脅威
山中 打率	.327	Watch	出塁の起点(42試合)

Matchup Focus | 対戦の注目点

Fighters	オリックス・バファローズ
----------	--------------

打線状態: レイエス・万波の中軸は健在だが、直近2試合は計4得点と上昇気流が途切れ気味。	打線状態: 紅林(11本)と山中(打率.327)が軸。爆発力より繋がりで点を取るタイプ。
先発投手状態: 未発表。中6日なら山崎福也(前回7/11に8-2で勝利)の登板が可能な日程。	先発投手状態: 未発表。
ブルペン状態: 9回の失点連鎖は7/16に止まった。3連戦初戦のため勝ちパターンは万全。	チーム状態: 対ファイターズは今季5勝10敗と負け越し中だが、本拠地京セラでは分が良い(4勝2敗)。
最近の試合傾向: 直近5試合2勝3敗0分。先制時勝率.667は維持しており、先制→中盤加点が生命線。	最近の傾向: 本拠地では接戦に持ち込む試合運びが多く、僅差の終盤勝負を得意とする。

Key Players | 注目選手

区分	選手	直近成績	ポイント
Fighters	レイエス外野手	打率.320前後 / 20本 / OPS.959	今季の対オリックス戦でも中軸として得点源。期待: 京セラの広さを苦にしない外野への強い打球。先制打の期待。
Fighters	万波中正外野手	7月 OPS1.0超の好調継続中	7月に状態を上げており、中盤の追加点の鍵を握る。期待: 5〜7回の「もう1本」。7/16に出なかった一打を今日こそ。
Fighters	伊藤大海投手	チーム最多110回超 / 防御率3点台前半	7/16に登板済のため今日は登板なし。次戦以降の軸として状態整理。期待: (参考)ローテ再編があれば京セラ最終戦での登板も。
Opponent	紅林弘太郎内野手	11本 / OPS.760	オリックス打線で最も長打が怖い存在。本拠地では特に警戒。対策: 甘い真っ直ぐを狙われる。低め変化球で勝負。
Opponent	山中稜真捕手	打率.327 / OPS.783	高打率で出塁の起点になる。繋がれると失点が膨らむ。対策: 先頭打者での出塁を許さない。

Risk Factors | 注意すべき要因

リスク	レベル	説明	対応仮説
京セラドームの相性	High	今季の京セラドームでは2勝4敗0分。ロースコアの接戦を落とすパターンが続いている。	先制後も攻撃の手を緩めず、中盤までに3点差以上を目指す。
中盤の追加点不足	Medium	7/16は先制しながら計2得点で逆転負け。直近2試合で4得点と打線が下降気味。	5〜7回の得点力。相手先発2巡目からの攻略を打席の狙いとして共有する。

3連戦初戦の入り	Low	移動を挟んだビジター初戦。過去の京セラ初戦は4/24(●2-3)、5/8(●3-4)といずれも接戦負け。	初回の失点を避け、僅差でも先に動く積極采配で主導権を取る。
----------	-----	--	-------------------------------

Game Plan Hypothesis | 試合プランの仮説

今季の対オリックスは10勝5敗0分と得意カードだが、京セラドームに限れば2勝4敗0分。過去の京セラでの敗戦はいずれもロースコアの接戦を落としたもので、先制だけでは足りない。7/16の反省も踏まえ、先制後の中盤(5～7回)に追加点を重ねて相手の「接戦持ち込み」を許さないことが勝ち筋。投手陣は紅林への一発警戒を最優先に、繋がる前の先頭打者出塁を防ぎたい。

Data Notes | データについて

使用データ	NPB公式サイト、公開されている試合結果・個人成績、イニングスコア等
集計対象期間	2026年シーズン、対象カードの過去対戦成績
データ取得日	2026年7月17日
データ入力方法	公開データをもとに手動入力、またはCSVインポートにより登録
注意事項	使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakのイニングスコアを独自集計 集計対象期間: 2026年3月27日～7月16日(全89試合) 注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は未発表のため未記載。

本サイトは北海道日本ハムファイターズ、NPB、その他関連団体とは関係のない非公式の個人分析プロジェクトです。